



## ●大豆・エダマメ農家に注目されはじめている「緑肥」

新潟クボタでは今年の収穫後、大豆とエダマメのお客様の圃場をお借りして、雪印種苗(株)様のご協力のもと、試験的に緑肥に取り組みます。

新潟では「緑肥」といってもまだあまり一般的ではないですが、エダマメの産地である黒埼地域では、ダイズシストセンチュウ対策や地力アップのため、緑肥をすき込むお客様が徐々に増えているそうです。

もちろん大豆でも、緑肥をすき込むことによって、センチュウ対策、地力アップ（減肥）、収量品質アップ、緑肥の根が下へ伸びることによる排水効果などが期待できます。



寒太郎(ヘアリーベッチ)

播種:9月中旬~10月20日頃  
播種量:3~5kg

- ・根粒菌が窒素固定し、地力がアップする。
- ・アレロパシー効果で雑草の発生も抑制する。



R-007(ライムギ)

播種:9月中旬~11月はじめ  
播種量:6~8kg

- ・低温に強いいため他の緑肥に比べて遅い時期まで播種可能。
- ・根が深くまで伸びるため、排水効果も期待できる。



くれない(クリムソクローバ)

播種:8月中旬~9月中旬  
播種量:2~3kg

- ・ダイズシストセンチュウ対策に最適。
- ・根粒菌が窒素固定し、地力がアップする。

新潟県の場合、大豆の収穫後には「寒太郎」または「R-007」、エダマメの収穫後には「くれない」がおすすめ!



ダイズシストセンチュウの被害が現われると、大豆がスポット状に枯れる...

発売元:雪印種苗(株)

緑肥は、耕作放棄地の維持管理（雑草対策や不法投棄の防止）にも取り入れられる等、他にもたくさんの種類と用途があります。興味をお持ちのお客様は新潟クボタまでお問い合わせください。

## 緑肥の播種・すき込みにおすすめの機械化体系

### 秋 排水対策



溝掘機・サブソイラ

### 播種床づくり



ロータリ または スタブルカルチ+パーチカルハロー

### 播種



ブロードキャスタ  
または動力散布機

### 覆土・鎮圧



パーチカルハロー

### 春

### すき込み



ロータリ または プラウ

大豆・エダマメ播種の約3週間前までにはすき込みを行います



## ●今年の春の乾かない田んぼを思い出して下さい・・・

### 2010秋 サブソイラ大作戦

20馬カクラスのトラクタから作業ができます！



田んぼにキスかななめに入っているのがサブソイラをかけた跡です

新潟クボタは、今年の秋「サブソイラ大作戦」を実施します！今年の春の乾かない田んぼを思い出して下さい・・・耕うん作業に苦労されたお客様が多いのではないのでしょうか？

秋の収穫後にサブソイラ・ハーフソイラをかけておくだけで排水性が良くなり、田んぼが乾くので、春作業が楽になります。大豆圃場はもちろん、イネでも効果大！

★まずは田んぼ1枚、実演でサブソイラを試してみませんか？



## ●「大豆研究会 中間検討会&大豆畑作機械展示会」を開催しました



8月3日に「新潟クボタ大豆研究会 中間検討会 & 大豆畑作機械展示会」を燕三条地場産センターにて行いました。

検討会では、新潟県農林水産部の岩津専技様より各普及展示圃の生育経過と今後の管理についてご講演いただいた他、(株)クボタの有原顧問より水田転作における大豆の生産技術について、新潟クボタリユウチームより、資材実証圃の経過について発表させていただきました。



●異常高温が続いている今年の注意点などをご説明いただいた、新潟県農林水産部 岩津専技様。



●クボタの有原顧問と肥料農薬メーカーの方々にご協力いただいた『大豆栽培相談コーナー』や、雪印種苗様のコーナーでも、熱心に質問をされているお客様がたくさんいらっしゃいました。



機械展示では、大豆だけでなく、エダマメ、ねぎ、にんにく、たまねぎ、ニンジン等の専用機、畑作全般で使用できる移植機や播種機なども展示しました。畑作関連機械の展示会というのは、新潟クボタとしても初めての試みでした。

近年、お客様から「〇〇（野菜）を作りたいんだけど、どういう機械体系でやれば良いか？」という相談をいただくことが多いので、その中でも声の多かった作物を中心に機械展示を行いました。県内外からたくさんのお客様にご来場いただき、誠にありがとうございました。